

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 9 月 28 日(2022.9.28)

【公開番号】特開 2021-117317(P2021-117317A)

【公開日】令和 3 年 8 月 10 日(2021.8.10)

【年通号数】公開・登録公報 2021-036

【出願番号】特願 2020-9802(P2020-9802)

【国際特許分類】

G 0 2 B 17/08(2006.01)

10

【F I】

G 0 2 B 17/08 A

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 9 月 16 日(2022.9.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0 0 4 7】

また、第 2 形態の投写光学系 3 A の最大物体高、F ナンバー、投写角度、T R は、以下のとおりである。最大物体高は、液晶パネル 1 8 面上において画像形成領域の中で、第 2 形態の投写光学系 3 A の第 1 光軸 N から最も離れた点までの寸法である。最大物体高の単位は m m である。F ナンバーは F N O で示す。投写角度は、第 2 投写角度 2 であり、単位は d e g である。T R は、スローレシオであり、投写距離を、投写画像をスクリーン S へ投写した時の X 軸方向の寸法で除算した値である。

最大物体高 11.7

F N O 2.2

投写角度 70.9

30

T R (0.59 " 16:9 L V) 0.304

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 0 0】

(実施例 3 の第 2 形態)

図 2 1 および図 2 4 に示すように、第 2 形態の投写光学系 3 C の投写方向 (第 2 投写方向) は、第 1 形態の投写光学系 3 C の投写方向 (第 1 投写方向) と相違する。すなわち、第 2 形態の投写光学系 3 C では、第 2 光学系 3 2 から、第 1 光学系 3 1 とは反対側に向かって光束が投写される。なお、第 2 形態の投写光学系 3 C が最終像をスクリーン S に投写する投写角度である第 2 投写角度 2 は、第 1 形態の投写光学系 3 C が最終像をスクリーン S に投写する第 1 投写角度 1 と同一である。

40